999999

質　問　票

質問１・２に当たる方も当たらない方も、氏名のふりがな・電話番号をご記入の上、**必ず全員返送**してください。

■あなたが検察審査員候補者に選ばれた検察審査会の名称等

検察審査会名	名簿調製年	群
●●検察審査会	令和９年	第　●　群

■ふりがな・電話番号（**必ず全員ご記入**ください。）

ふりがな		電話番号（携帯電話等）
氏　名		（　　）　　－

■住所等（「質問票に関するご案内」記載の**氏名、住所に変更等がある方のみ**）

ふりがな		変更後の住　所	〒　　－
変更後の氏　名			

質問１　検察審査員になることができない方に当たるかどうか（次の　１　～　１９　のいずれかに当てはまる方のみ）

該当する番号に○をつけ、1～１７のいずれかに当てはまる方は、裏付けとなる資料の**写し**を返信用封筒に同封してください（当てはまる方は検察審査員になることができません。）。

☞該当する方は必ず該当する番号に○をつけてください。

1. 国務大臣
2. 裁判官
3. 検察官
4. 会計検査院検査官
5. 裁判所の職員（非常勤を除く。）
6. 法務省の職員（非常勤を除く。）
7. 国家公安委員会委員
8. 都道府県公安委員会委員
9. 警察職員（非常勤を除く。）
10. 司法警察職員としての職務を行う方
11. 自衛官（予備自衛官を除く。）
12. 都道府県知事
13. 市町村長（特別区長を含む。）
14. 弁護士（外国法事務弁護士を含む。）
15. 弁理士
16. 公証人
17. 司法書士

→ 職業がわかる身分証明書などの写しを同封してください。

※裏付けとなる資料にマイナンバーが記載されている場合は、必ずマイナンバーを隠してコピーしてください。

18. 学校教育法に定める義務教育を終了していない方（義務教育を終了した方と同等の理解力がある方を除く。）
19. １年の拘禁刑以上、１年の懲役又は禁錮以上の刑に処せられたことがある方

→ **裏付けとなる資料は不要です。**

裏面に続きます。

質　問　票　《続き》

質問２　辞退事由がある場合に辞退を希望されるかどうか（次のア～コいずれかに当てはまる方のみ）

次の ア ～ コ のいずれかに当てはまり、辞退を希望される方は、該当するカタカナに〇をつけ、イ～オ、コのいずれかに当てはまる方は、裏付けとなる資料の写しを返信用封筒に同封してください（裏付けとなる資料にマイナンバーが記載されている場合は、必ずマイナンバーを隠してコピーしてください。）。

☞辞退希望の方は必ず該当するカタカナに〇をつけてください。

ア　７０歳以上（任期終了日までに７０歳になる方を含む。）	裏付けとなる資料は不要です。
イ　国会又は地方議会の議員（会期中に限る。） ウ　国又は地方公共団体の職員 エ　教員	職業がわかる身分証明書などの写しを同封してください。
オ　学生又は生徒	学生証などの写しを同封してください。
カ　過去５年以内に検察審査員又は補充員であった。 キ　過去５年以内に裁判員又は補充裁判員であった。 ク　過去３年以内に選任予定裁判員であった。 ケ　過去１年以内に裁判員候補者として裁判員等選任手続の期日に出頭した（辞退が認められた人を除く。）。 ※過去●年以内の基準となる日は、任期開始日です。	具体的な時期等をご記入ください。 裏付けとなる資料は不要です。 （時期）＿＿年＿月頃 ＿＿＿＿＿＿＿検察審査会 ＿＿＿＿地方裁判所＿＿＿＿支部

コ　重い病気、長期海外旅行又はその他の「やむを得ない事由」がある。

具体的なご事情を下欄にご記入のうえ、裏付けとなる資料（例えば病気等を理由として辞退を希望される場合は病院・薬局の領収書など）の写しを同封してください（お手元にあるもので結構です。）。

※ご記入いただいた内容をもとに、検察審査会が「やむを得ない事由」に該当するかどうかを判断しますので、できるだけ詳しくご記入ください。

具体的なご事情

■お手伝いを必要とされる方へ

※身体の不自由などの理由によりお手伝いを必要とされる方が検察審査員・補充員に選ばれた場合、会議に参加しやすいよう準備しますので、下欄にご要望等をご記入ください。
（検察審査会事務局からご連絡させていただく場合があります。）

（記載例：手話通訳を希望します。）

以上で質問は終わりです。ご記入いただきありがとうございました。この質問票は、お手元に届いてから**７日以内**に同封の返信用封筒（切手不要）にて返送していただくようお願いします。